

セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2019 専門講座



2019年12月7日(土) 9:50~16:30

参加無料

会場:国際電子ビジネス専門学校
応募締切:2019年11月5日(火)16時00分

開催概要

日 程	2019年12月7日(土) 9:50(受付開始9:30)~16:30
場 所	国際電子ビジネス専門学校 〒900-0025 沖縄県那覇市壺川3-5-3 アクセスマップ: https://www.kbc.ac.jp/about-kbc/access/
定 員	20名 選考あり
参 加 資 格	日本国内に居住する、2020年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒
主 催	セキュリティ・ミニキャンプ沖縄実施協議会、 一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
共 催	一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター
費 用	無料。ただし会場までの交通費及び宿泊が必要な場合の宿泊費は自己負担でお願いいたします。 ※沖縄県出身の沖縄県外学生を対象に別途規定する宿泊費を支給します。宿泊場所は各自で手配ください。
ホームページ	https://www.security-camp.or.jp/minicamp/okinawa2019.html

プログラム

※講義内容(テーマ、担当講師等)は変更する可能性があります。

専門講座 12月7日(土)	
9:30~	受付開始
9:50~10:10 (20分)	『オープニング』一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会ステアリングコミッティ
10:10~10:50 (40分)	『セキュリティキャンプグループワーク ~グループで考えるサイバーセキュリティの基礎~』 佳山 こうせつ氏 セキュリティ・キャンプ協議会 企画グループリーダー/富士通株式会社 社会で求められるサイバーセキュリティは、みんなで協力しあいながら、レベルアップしていく必要があります。サイバー攻撃を正しく知り、どう守るのか、そしてどうコンピュータを使い続けさせることができるのか、この知る/守る/続けるについて、グループで考えてみたいと思います。
10:50~12:55 (125分)	『プロキシツールを用いて検証するWebアプリケーション診断』津嘉山 遼氏 琉球大学大学院在学 Webアプリケーションへのリクエストを実際に自分の目で確認して、どのようなものが送信されているのかを理解して、実際にリクエストを改竄して脆弱性をつくことを確認し、セキュアなWebアプリケーションの構築方法を学びます。
12:55~13:45 (50分)	昼食休憩(主催者側にて用意いたします)
13:45~16:10 (145分)	『サーバセキュリティ入門』安里 悠矢氏 株式会社イエラエセキュリティ この講義では、実際に脆弱性なサーバを動作させ、どのような脆弱性があるのかを確認します。脆弱性の探し方とその対策方法について学んでいきます。
16:10~16:30 (20分)	『クロージング』写真撮影、アンケート記入等
16:30	解散

■参加要項(事前にご確認ください)

参加条件	<ul style="list-style-type: none">・日本国内に居住する、2020年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒(当日、学生証または年齢がわかるものをご提示いただきます)。・団体行動のルールを守り、他の参加者と協調して参加できること。・コンピュータサイエンスに関する基礎知識を持っていること。・演習で使用する下記条件のPCを持参できること。<ul style="list-style-type: none">- HDDに20GB程度の空き容量があること。- USB(TypeA)の空きポートがあること。- Wi-Fiに接続可能なこと。- VirtualBox、VMware等の簡単な操作が可能で、前出の仮想環境においてLinuxのコマンド操作が可能なこと。- 参加決定後に指定のソフトウェアをインストールし、起動確認できること(詳細は参加決定後にご連絡します)。・別途定める「セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2019」実施規定を遵守できること。・参加時点で20歳未満の方は、参加について保護者の同意を得られること(参加決定時に保護者の同意書を提出していただきます)。
申込方法	セキュリティ・キャンプ協議会のホームページよりお申し込みください。 https://www.security-camp.or.jp/minicamp/okinawa2019.html#Id03 ※選考問題があります。 ※申込内容に不備があった場合は、事務局より確認のご連絡をする場合がございます。 ※申込された方には、申込受領のメールが自動送信されます。メールが届かない場合は事務局までご連絡ください。
申込締切	11月5日(火)16:00必着(16:00までに到着したものを有効とします)
参加者決定のお知らせ	審査の上、申込みされた方全員に11月8日(金)までにメールまたは電話にて連絡します。
留意事項	<ul style="list-style-type: none">・申込者多数の場合には、参加できないことがあります。参加者は、選考問題の回答内容を審査の上、沖縄地方の方を優先に選考します。・会場までの往復の交通機関や宿泊施設は必要に応じてご自身で手配(費用自己負担)してください。 ※宿泊費支援について 沖縄県出身の沖縄県外学生を対象に別途規定する宿泊費を支給します。宿泊場所は各自で手配ください。・参加が決定された方には、「セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2019」実施規定を遵守する旨の誓約書、学生証(小学生は在学証明書)のコピーを提出していただきます。また、事前学習課題に取り組んでいただくことがあります。・ミニキャンプ期間中には、マスコミ各社による取材活動が行われることがあります。また、取材された結果が氏名・学校・顔写真を含んだ受講時の様子を含めて各メディアに掲載されることがありますので、ミニキャンプに申込される方はその旨事前にご了解ください。・ミニキャンプ開催後には、主催者ホームページにて「セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2019」の開催報告をする予定ですが、その際参加者が写っている画像を掲載する可能性があります。ミニキャンプに申込される方はその旨事前にご了解ください。・ミニキャンプの講義の様子は、キャンプ事業の広報活動や技術啓発を目的として撮影、録音し、その内容を公開する場合があります。・本事業の成果をはかることを目的として、ミニキャンプ参加後、参加者については参加者アンケートの提出を含めて、定期的にその後の活動状況についてフォローアップ調査(参加者は回答必須)させていただきます。参加を希望される方はその旨事前にご了解ください。・「セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2019」に参加した方でも、セキュリティ・キャンプ全国大会や他のミニキャンプの応募は可能です。

■講師プロフィール



佳山 こうせつ (かやま こうせつ)

富士通株式会社に勤務し、CSIRTの立ち上げで得た知見を活かしたセキュリティ人材育成の全社推進やサイバーレンジ「CYBERIUM」開発に従事。独立行政法人 情報処理推進機構(IPA) セキュリティセンター 研究員、東京電機大学 サイバーセキュリティ研究所研究員 CySec講師、SECCON実行委員、総務省SecHack365ドレナー、総務省公衆無線LANセキュリティ分科会構成委員、セキュリティ・キャンプ協議会企画グループリーダー、(ISC)2から2016年アジア・パシフィック情報セキュリティ・リーダーシップ・アチーブメント(ISLA)受賞。



津嘉山 遼 (つかやま りょう)

琉球大学大学院 情報工学専攻 M1 ネットワーク系研究室所属。セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016 に参加後、セキュリティ・キャンプ全国大会2018を修了。2018年にHardening II SecurEach in 宮古島、2019年にHardening II SU in 札幌に参加。



安里 悠矢 (あさと ゆうや)

株式会社イエラエセキュリティ所属。脆弱性のない世界を創るため、多数のWebサイトやAPIの脆弱性診断に従事。趣味でOWASPやJAWS-UG等のイベントに多数参加・登壇をしたり、バグハウンティングプログラムへの参加など脆弱性からWebサービスを守るための活動などを行っている。

セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2019 専門講座問合せ窓口

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー 株式会社ラック内

TEL 03-6757-0196 Email info@security-camp.or.jp